

# 受託開発委員会による 実力養成講座

受託開発委員会 委員長 植田 訓行



今年度6月より会員研修委員会と共催で受託開発委員会が行っている実力養成講座について簡単ではございますがご説明させていただきます。

当講座は、主な受託案件である（公財）ひょうご産業活性化センター「技術・成長性評価」（以下、「技術評価」）と兵庫県信用保証協会「経営支援強化事業」（以下、「経営支援強化事業」）を取り上げて実施しています。

当講座の特徴は、すべてWEB配信で行っていることです。この形式にしたのは、受講者が必要な時にいつでも、何度でも受講・視聴できるようにして学習効果を高めることを狙ったことです。

次に講座内容についてですが、「技術評価」「経営支援強化事業」両案件についてそれぞれ主な業種ごとに1講座ずつ設けています。各講座では、講師に業種ごとに高評価を得ている案件担当者に登壇いただき、それぞれのノウハウを開示していただく講座内容となっています。

例えば、先日行われた「『技術・経営力評価制度』における業種別評価書作成講座（製造・加工業編）」では、当評価制度の元評価委員である講師から評価書を作成するための準備から、さらには自らが作成した3社分の技術・経営力評価書を使って評価書の各評価項目での評価の仕方やその視点などについて具体的・詳細にかつ分かりやすく解説しています。このように各講座とも各業種のエキスパートから各業種に合った評価書や経営診断報告書についてそれらを記述するための具体的な準備の仕方から評価・診断するための視

点、文章の書き方など様々なノウハウを学んでいただく講座となっています。

具体的な日程についてお知らせいたします。次の表をご覧ください。6月より始めておりこの原稿を書いている8月末では、既に「技術評価」の講座3回目（製造業編）を終了しています。

日時	実力養成講座	講師
6月10日(木) 18:00~20:00	技術・経営力評価書のすべて	上田 育功氏
7月8日(木) 18:00~20:00	業種別評価書作成講座 (建設-土木業編)	福島 猛氏
8月12日(木) 18:00~20:00	業種別評価書作成講座 (製造-加工業編)	西本 文雄氏
9月9日(木) 18:00~20:00	業種別評価書作成講座 (卸売-小売業編)	木之下尚令氏
10月7日(木) 18:00~20:00	経営診断報告書作成講座 (製造-建設業)	西嶋 衛司氏
11月11日(木) 18:00~20:00	経営診断報告書作成講座 (サービス-IT業)	西谷 雅之氏
12月9日(木) 18:00~20:00	経営診断報告書作成講座 (飲食-食品製造業)	梶原 陽二氏
令和4年 1月12日(木) 18:00~20:00	経営診断報告書作成書のすべて	西口 延良氏

各講座は開始の20日ほど前に皆さまにメールにてお知らせします。メールに掲載のURLにてお申し込みください。受講料金についても各講座とも2,000円と安価に設定し、受講生の方のお手間を取らせないように全てクレジット決済とさせていただきます。

最後に、受託開発委員会では、数多くの会員の方に実力養成講座の受講をしていただき自らのスキルアップにつなげて頂ければと切にお願いを申し上げます。

# 事業再生(経営改善)の取組における問題点・課題の把握と 金融機関との連携による中小企業診断士の支援の在り方を提言

令和元年度・調査研究事業 代表 西口 延良

## はじめに

顧客に対する優越的地位にあった地域金融機関のビジネスモデルの時代は過去のものとなった。現在では、顧客が抱える様々な課題に対して、コンサルティング支援を強化している。本調査・研究事業において、これらの背景を理解するとともに、地域金融機関へのアンケート調査、支援企業へのヒアリング調査、支援者へのヒアリング調査を通じて、地域金融機関との連携による中小企業診断士の支援の在り方を提言した。本稿においては、提言の内容を中心にポイントを絞ってお伝えする。

## 1. 金融環境の把握

金融機関はバブル崩壊後に発生した不良債権の処理に追われ、北海道拓殖銀行や山一証券等は破綻に至る。金融機関の株価は暴落し、金融危機に陥った。これらの事態を解決するため、政府は公的資金の注入により金融危機は回避されたが、金融機関の自助努力が求められ、中小企業に対する融資の貸し渋りや貸しはがしが社会問題に発展した。金融機関への批判は、これらの社会問題が背景にあるものである。これらの批判に対して、政府(金融庁)は金融機関に対して、リレーションシップバンキングの推進やローカルベンチマークの導入を実施し、特に地域金融機関については、中小企業に対する経営支援を求めた。金融庁は「銀行の健全性」を重視する方針から、「企業と経済の成長と資産形成」に重視する方針へと舵を切った。以上より、地域金融機関は取引先の中小企業に対するコンサルティング機能を強化し、中小企業の満足度を高めることにより、地域金融機関は生き残っていく時代となっている。

日経平均株価の推移  
平成バブル景気前後の日経平均株価



(出典:経済&マネー)

## 2. 地域金融機関へのアンケート調査

地域金融機関のアンケート調査によると、全機関がコンサルティング支援を強化したいことが分かった。また、事業再生(経営改善)の支援について、重要テーマとして捉えている。事業再生(経営改善)における支援ニーズは高く、中小企業診断士を積極的に活用して、事業再生(経営改善)の支援を強化したいことが把握できた。

## 3. 支援企業へのヒアリング調査

支援企業のヒアリング調査においても、中小企業診断士における支援効果は高いことが分かった。経営改善計画書を作成するメリットは、経営支援に加えて金融支援を受けられることや経営者の気づきにつながるものが把握できた。

## 4. 支援者へのヒアリング調査

支援者のヒアリング調査において、支援者と支援企業の信頼関係の構築が重要であることが分かった。事業再生(経営改善)の支援企業においては、業績の厳しい事業者であるので、支援企業と円滑にコミュニケーションをとって、支援企業と支援者との目線合わせが必要であることが把握できた。

## 5. アンケート調査とヒアリング調査により把握した課題

これらのアンケート調査とヒアリング調査により、五つの課題を把握することができた。

課 題
① 地域金融機関によるコンサルティング支援の強化
② 実現可能性の高い経営改善計画書の作成
③ モニタリング支援の強化
④ 中小企業診断士による支援の強化
⑤ 地域金融機関と中小企業診断士の連携強化

## 6. 地域金融機関と連携した中小企業診断士の支援の在り方を提言

### (1) 地域金融機関のコンサルティング支援における自主的な取組の推進

平成30年の信用保証協会法の改正により、信用保証協会の中小企業に対する経営支援業務が明文化された。これにより、兵庫県信用保証協会は、中小企業に対するコンサルティング支援を積極的に取り組んでおり、代位弁済の金額と件数の減少といった具体的な成

果を上げている。兵庫県信用保証協会の活動事例を指針として、地域金融機関においても自主的なコンサルティング支援の取り組みが期待される。

#### 兵庫県信用保証協会の代位弁済の推移

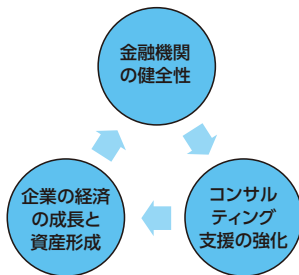
(単位:百万円/件)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
代位弁済 (金額)	26,636	24,620	18,097	18,039	17,049	19,302
代位弁済 (件数)	2,306	1,974	1,545	1,524	1,505	1,634

(出典:兵庫県信用保証協会ディスクロージャー誌/  
2019年度信用保証協会のあらし)

また、「金融機関の健全性」と「企業の経済の成長と資産形成」は別個にとらえるのではなく循環するものであり、地域金融機関がコンサルティング支援を強化することは、「企業の経済の成長と資産形成」を推進することができ、結果として「金融機関の健全性」も図れるものと考えられる。

#### コンサルティング機能の強化による循環サイクル



#### (2) 経営改善計画書の品質の向上

金融庁は、平成27年度に初めて中小企業向けの大掛かりなヒアリングとアンケート調査を実施した。これらのヒアリングとアンケート調査から、評価の高い金融機関は下記の3項目の取組が優れていることが分かった。

- ①顧客のニーズや経営課題の把握において、独自の仕組みを構築している。
- ②事業性評価を顧客に開示する等、顧客との課題共有のための対話を実施している。
- ③顧客への支援を営業店任せではなく本部が積極的に関与・サポートしている。

このうち、中小企業から評価される金融機関は②の事業性評価を顧客に開示することが求められるようになり、特に地域金融機関は事業性評価を重視するよう

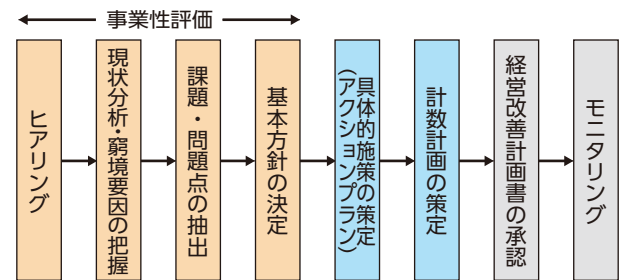
事業性評価とは、金融機関は金融仲介機能において情報生産を行っているが、その品質の決め手となるものを近年「事業性評価」と読んでいます。知的資産経営報告書や経営デザインシート等の作成により、担保・保証人に依存しない事業性評価に基づき融資を推進するとともに、広義では金融機関のコンサルティング支援の強化を推進することを意味する。

(出典:一般社団法人中小企業診断協会  
企業診断ニュース2019年8月号 日下智晴氏)

になった。

事業性評価の取り組みについては、経済産業省が推奨している「ローカルベンチマーク」や「知的資産経営報告書」等、様々な手法がある。よって、事業再生(経営改善)の支援においては、これらの手法をうまく活用して、事業性評価を意識した経営改善計画書を作成する必要がある。経営改善計画書の書式や雛形にとらわれず、補足資料等を有効に活用して、経営改善計画書を作成することが重要である。

#### 経営改善計画書作成の支援フロー



#### (3) モニタリング支援の強化の取り組み

アンケート調査とヒアリング調査より、経営改善計画書作成後のモニタリング支援の重要性を把握することができた。モニタリング支援には以下の効果が認められる。

- ①経営者の緊張感を維持してモチベーションアップにつながる。
- ②策定した具体的施策(アクションプラン)の実行支援に導く。
- ③市場環境の変化に対しては具体的施策に縛られず柔軟に対応できるように助言できる。

中小企業診断士を有効に活用して、地域金融機関による積極的なモニタリング支援を期待する。

#### (4) 中小企業診断士の支援の強化の取り組み

中小企業診断士が中小企業への支援を強化するためには、支援企業(経営者)とうまくコミュニケーションをとって、信頼関係を構築することが重要である。また、事業再生(経営改善)の支援においては、国や地方自治体の補助金等の支援施策(経営改善支援センター事業等)をしっかりと把握して、これらの支援施策の有効活用を徹底する必要がある。さらに、中小企業診断士自身が自己研鑽を怠ることなく、支援能力の向上を図る責務がある。

#### (5) 地域金融機関と中小企業診断士の連携強化の取り組み

兵庫県中小企業診断士協会と地域金融機関の連携強化を提言する。具体的には、兵庫県中小企業診断士協会が主催するイベント等を通じて地域金融機関との交流を推進し、中小企業診断士の橋渡し役としての機能を発揮させる。これにより、中小企業診断士が活躍できる機会の場を創出することを期待する。



## 国際フロンティア産業メッセ2021の展示会場より 「ミニお芝居」「オンラインセミナー」などが好評

9月2日、3日に、神戸国際展示場で行われた国際フロンティア産業メッセに当協会もブースを出展しました。7回目の出展となる今年はブースを特設スタジオにして、企業経営や事業展開に役立つ「セミナー」と「補助金ミニお芝居」、「診断士の活用動画」を開催・放映しました。

ブースで熱心に聴き入る来場者もあり、中小企業診断士と診断士のコンテンツ、企業の事業展開の取り組みをPRすることができました。当日の様子を写真で振り返ります。



事業再構築に該当するか、  
診断士が社長にアドバイス  
しています

診断士が金属加工業の  
社長を熱演しました



司会も社長も診断士役も、  
みんな診断士が演じました

### 「オンラインセミナー」講師・テーマ

赤木秀行	中小企業だからこそできる、ロボットを使った業務効率化!
塩川圭佑	製造業における取引拡大に向けて～工場見学で失注する会社の特徴～
西口竜司	生産性向上のためのリーガルテック活用法
指尾成俊	高収益をあげるための、小さな会社のマーケティング戦略～自社・町工場の事例を題材に～
大口憲一	まず取り組みたいカイゼン活動～2Sから5Sへ～
森本 太	企業の健康診断「ローカルベンチマーク」



セミナーは、オンラインでも  
ライブ配信しました



セミナーで熱弁している  
様子です

実際に診断士を活用した  
社長へのインタビュー  
動画を放映しました



会員17名がブース運営と  
セミナー、お芝居に参加  
しました

当協会のYouTube  
チャンネルで、診  
断士活用動画やセ  
ミナー内容を公開  
しています



**「ミニお芝居」スタッフ・出演者**

- 企画・構成: 稲垣賢一
- 脚本: 芳田京美
- 演出: 玉島剛
- 技術: 清田峻吾・大内利之
- 出演: 司会・進行役: 芳田京美・鳥生明美 / 町工場の社長: 白川泰憲・豊田孝治・玉島剛
- 中小企業診断士: 塔筋幸造・稲葉晃・井上陽介



## ただいま修行中

## 《第7回》すべての相談を大切に。日々の勉強を積み重ね

山上和男 さん

2017年に20年間勤めたIT企業から独立、得意のIT技術を活かし、いくつかの支援機関での相談員などを経験したという山上和男さん。現在の仕事に対する取り組みなどを伺いました。



—— 現在の山上さんの主な仕事のなどをお聞かせください

今年の6月から奈良県の「よろず支援拠点」でコーディネーターを担当しています。このところの時世を反映して、事業再構築補助金などの支援制度の相談がたくさん寄せら

れています。事業計画書の作成では、粘り強く何度も相談に訪れる方もいて、毎日が真剣勝負ですね。あと、創業に関する相談も多く、こちらは女性の起業家が多いように感じています。相談者とともに夢を叶えるお手伝いができればと考えています。そのほか、すき間をみて支援機関などから頂いた仕事をしています。

—— 目標の資格を取得したあと、しばらくしてプロコン育成塾に入塾していますね

独立間もないころに、ご縁があり、ひょうご産業活性化センターで専門員として仕事をしていました。同時に兵庫県中小企業診断士協会にも入会しました。当初からプロコン育成塾のことは耳にしており、気にかけていましたが、フルタイム勤務の仕事でしたので、少し時間のやりくりが難しいと思い、様子を見ていました。

ひょうご産業活性化センターでは、新しい事業の立ち上げから携わる機会をいただき、個人的にも成果はありましたが、プロコンとしての道を模索するため、2年間で退職後、受講することに決めました。

—— 受講の手応えはどうか

噂通りというか、いろいろと厳しい指摘・指導があり、多くの気づきが得られました。また、講師の先生方の持っているスキルを実際に間近で見ることができ、たいへん勉強になりました。

また、診断先になっていただいた経営者の方に最終報告をする際、あえて「悪かったところ」を指摘していただく機会があり、講師陣と同じような指摘を受けました。これには少しへこみましたが、自分の弱点が鮮明になり、ありがたいと感じ

ています。できれば、もう一度受講したいと思っているぐらいです。

—— これからの課題や目標を聞かせてください

今は、一つひとつの相談に対して、真剣に向き合うことだと思います。補助金にしても、創業にしても、相談者にとってはご本人だけでなく、ご自身の家族や、従業員の皆さんの生活にも関わる大きな決断をしていると思います。相談の予約があると、相談者の方がどういう仕事をしているのか、どんな業界で将来性や課題は何か、などいろいろと調べるようにしています。相談者にとって良い結果が得られるよう、しっかりアドバイスできるようにしたいと日々向き合っています。

将来は、これまでのIT業界での経験を活かし、企業のCIOのような役割が果たせたらと考えています。会社の経営や業績の向上にITをうまく活用できるような的確な助言をしたいと思っています。あまり地域に拘らず、求められた所で期待に応えていきたいです。

—— プライベートではどんなことをしていますか

もともと、あまり外で活動するタイプではないのですが、特にコロナ下でもあり、自宅で読書をしていることが多いですね。マンガも読みますが、もっぱらビジネス書が中心です。近くの図書館で仕事に関係する本を借り、勉強を積み重ねています。今の仕事は、いろいろな相談が多く幅が広いので、様々な経験や勉強を積み重ねるのに役立っています。

—— 読者や会員の方に一言

一人のできる仕事には限界があると思っています。いろいろなご縁でつながった方々と協力して、地元・兵庫県を盛り上げていきたいと考えています。頑張っ取り組みますので、なんでも気軽に声をかけていただきたいと思います。

【プロフィール】

1972年3月生まれ。兵庫県伊丹市出身。神戸市立工業高等専門学校を卒業後、IT企業のシステムエンジニアとして約20年勤務。退職後、経営とITのコンサルタントになることを目指し、2017年に中小企業診断士登録、ケーワイソリューションズを設立。前職での経験を活かして、ITを活用した生産性向上を得意とする。

## 協会設立10周年プロジェクト 速報

## 協会の「これまで」と「これから」の座談会を実施

協会設立記念行事の一環として、現在記念誌の制作が進行中です。その中の企画として、2つの座談会記事を掲載予定です。そのひとつが現役を含む歴代会長・事務局長による座談会です。当日は協会運営だけでなく、設立当初の苦労話やその後の協会のあり方など、たくさんのお話が聞けました。そして、もうひとつが若手座談会です。これからの協会を担う人たちによる、協会への期待や将来の協会像など、それぞれの思いを語り合っていました。



当時の記録を見ると色々な思い出がよみがえります



協会の将来や期待などを語り合いました

## ニュース

## NEWS

## ■ 理論政策更新研修を実施

コロナ禍、緊急事態宣言の発出などで開催が直前まで危ぶまれましたが、無事開催することができました。本年度は改修の済んだハーバーホールで実施。8月21日、27日、9月4日の三日間で約300名の方が受講されました。



## ■ ものづくり&amp;SCM研究会がオープンセミナーを開催

去る7月22日、ものづくり&SCM研究会では、碌々産業株式会社の代表取締役社長・海藤満氏をお招き

し、オープンセミナーを開催しました。当日は、研究会員だけでなく一般の方も来場され、同社の超精密加工技術についての説明に熱心に耳を傾けました。

## ■ プロコン育成塾がスタート

当協会の人気の講座「プロコン育成塾」第17期がスタートしました。本年度からは、新塾長・小畑秀之以下の新体制で「民間に通用するプロコン」の育成を目指します。これまでの修了生はすでに200名を超え、多くのプロコンを輩出してきました。



## ■ 入退会者のお知らせ 令和3年4月1日以降の入会者、退会者は以下の通りです。(順不同・敬称略)

## 入会者

中川 淳子、山本 雄三、山口 隆久、大川 剛義、鎌下 修、鹿島 清人、長尾 康行、木戸 貴也、岡本 一幸、大口 憲一、田中 一行、中山 真吾、只野 由晃、三宅 庸仁、薄木 栄治、高崎 直樹、山根 知典、中川 典哉、鶴井 宣仁、音田 直毅、宮下 裕太郎、藤原 洋介

## 退会者

黒田 安広、上大田 孝、長田 正道、杉井 敦史、八隅 裕樹、柏木 則人、石田 倫也、武市 俊彦

## お詫びと訂正

前号(2021年6月号) 2ページ「新会員のご紹介」において、会員の方の氏名のふりがなに誤りがありました。小林様にはご迷惑をおかけし、申し訳ございませんでした。下記の通り訂正いたします。

会員氏名 小林 道明 誤: こばやし みちあき 正: こばやし のりあき

## 委員会報告 6月～9月

### ● 総務委員会

委員会開催日	主な議題
6月1日(火)	総会・懇親会の振り返り、理論更新研修、新入会員ガイダンス
7月6日(火)	新入会員ガイダンス、理論更新研修、経営診断実務研修
8月3日(火)	理論更新研修、経営診断実務研修、理論更新研修
9月7日(火)	理論更新研修(第1回目、第2回目、第3回の振り返り)、経営診断実務研修、新入会員ガイダンス
理論更新研修1回目(152名参加)、2回目(137名参加)、3回目(95名参加)を実施しました。	

### ● 広報委員会

委員会開催日	主な議題
6月23日(水)	各委員からの報告、国際フロンティアメッセの企画立案
7月28日(水)	メッセ進捗報告検討・告知用動画の作成方針検討
8月25日(水)	国際フロンティアメッセの内容確認、役割分担進捗協議
全員一丸となって、国際フロンティアメッセに対応しているため、9月22日の委員会ではその成果等の振り返りを実施し、次の課題であるHPリニューアル、動画活用方法の検討などを予定している。	

### ● 受託開発委員会

委員会開催日	主な議題
6月9日(水)	今年度末受託実績予測について
8月11日(水)	今年度末受託実績予測について
会員の皆様には、7月8日兵庫県の「中小企業新事業展開支援事業費補助金」の審査業務にご協力いただきまして誠に有難うございました。既に無事に県の審査も終え採択企業も決定しています。兵庫県の担当者から当方に重ね重ね感謝の意を頂戴しました。これも一重に当公募に应运り頂いた会員皆様のおかげです。誠に有難うございました。今後とも受託案件を公募することになるとは思いますがいよいよお願い申し上げます。	

### ● 会員研修委員会

委員会開催日	主な議題
6月28日(月)	スキルアップ・セミナーの開催状況の確認と企画の打ち合わせ、調査研究事業の審査等にかかる打ち合わせ ほか
7月26日(月)	スキルアップ・セミナーの開催状況の確認と企画の打ち合わせ、中小企業診断士の日の企画の検討 ほか
8月23日(月)	スキルアップ・セミナーの開催状況の確認と企画の打ち合わせ、中小企業診断士の日の企画の検討 ほか
スキルアップセミナーを3回開催し、いずれもご好評をいただきました。	

## 今後の予定

### ■ スキルアップおよびオープンセミナー(会員研修委員会主催)

日時	場所	テーマ	講師	日時	場所	テーマ	講師
10月9日(土) 13:30~16:30	神戸市産業振興センター 802・803会議室	中小企業診断士が知っておきたい 企業のリスクマネジメント	技術士 執 忠希氏	12月4日(土)	オンライン	今から始める テレワーク(仮題)	武田かおり氏

※連絡先: 代表 伊藤 康雄 ito@clrstm.co.jp

#### 「実力養成講座」

日時	場所	テーマ	講師	日時	場所	テーマ	講師
10月7日(木): WEBセミナー	経営診断報告書作成講座(製造・建設業)	西嶋衛司氏	12月9日(木): WEBセミナー	経営診断報告書作成講座(飲食・食品製造業)	梶原陽二氏		
11月11日(木): WEBセミナー	経営診断報告書作成講座(サービス・IT業)	西谷雅之氏	令和4年12月(木): WEBセミナー	経営診断報告書作成書のすべて(仮称)	西口延良氏		

※連絡先: 代表 植田 訓行 maruujirushi@yahoo.co.jp

## 研究会スケジュール

問い合わせ先: 078(362)6000

コロナウイルス感染症対策のため、今後、大幅な予定変更が考えられます。念のため、開催日程については各研究会にお問い合わせください。

### ● 診断技術向上研究会

日時	場所	テーマ	講師
10月14日(木)	神戸市産業振興センター906号室	健全なリーダーシップの 発揮「人生態度」	研究会全員

※開催日: 原則第2木曜日 時間: 18:30~20:30  
※連絡先: 代表 楠田 貴康(くすだ たかやす) tkusuda2002@gmail.com

### ● 地域産業活性化研究会

日時	場所	テーマ	講師
調整中	調整中	調整中	調整中

※開催日: 調整中 時間: 調整中  
※連絡先: 代表 中澤 悠平 y-nakazawa@aimable-consulting.com

### ● HOO経営研究会

日時	場所	テーマ	講師
未定	未定	未定	未定

代表 福島 繁 ※開催日: 原則奇数月第3火曜日 時間: 18:30~20:30  
※連絡先: 加藤 慎祐 MLD11291@nifty.com

### ● ものづくり&SCM研究会

日時	場所	テーマ	講師
10月2日(土)	神戸産業振興センター	①ローカルベンチマーク事例 ②ローカルベンチマーク事例	①太田真行氏 ②三村光昭氏
11月6日(土)	兵庫県民会館	①「ものづくり&SCMの観点 からの経理の役割」 ②未定	①小林道明氏 ②未定

※開催日: 原則第1土曜日 時間: 14:30~17:00(1、5、8、12月除く)  
企業内・独立問わず、経営全般の幅広い専門知識の情報交換を目指し、現場見学も取り入れて開催しています。  
※連絡先: 三村 光昭 QZE02753@nifty.com

### ● 青年部会

日時	場所	テーマ	講師
10月4日(月)	神戸市産業振興センター or Web会議	支援事例の紹介&議論	未定
11月1日(月)	神戸市産業振興センター or Web会議	支援事例の紹介&議論	未定

※開催日: 原則第1月曜日 時間: 19:00~21:00  
※連絡先: 青山 雄一郎 aoyama@kig.blue ※参加資格: 49歳以下の会員

### ● プロコンスキル研究会

日時	場所	テーマ	講師
11月8日(月)	神戸市産業振興センター905号室	①支援事例等による実践 スキルの研鑽 ②支援事例等による実践 スキルの研鑽	①久保井篤史氏 ②富松 誠氏

※開催日: 原則奇数月の第2月曜日 時間: 18:30~20:30  
※連絡先: 大内 利之 to525pip@yahoo.co.jp  
(参加はプロコン有成塾修了者と講師に限ります)

### ● Shobai Lab.(商業研究会)

日時	場所	テーマ	講師
10月21日(木)	88base エスペース	小売業支援事例紹介	木之下尚令氏

※会場所在地: 西宮市馬場町3-20-2F(最寄り駅: 阪神西宮)  
※開催日: 毎月第3木曜日 時間: 18:30~21:00(8月は日程変更の可能性有)  
※連絡先: 代表 木之下尚令 info@ut-mana.jp

### ● 事業性評価研究会

日時	場所	テーマ	講師
10月25日(月)	神戸市勤労会館 406号	事業再生における税制の 把握について	中小企業診断士 税理士 坪田昌彦氏

※開催日: 毎月第4月曜日 時間: 18:30~20:30(4、8、12月除く)  
※連絡先: 代表 西口 延良 ANC11775@nifty.com

※各スケジュールは変更になることがあります。

## 編集後記

今年の国際フロンティア産業メッセは、初めての試みとして「ミニお芝居」を上演しました。町工場の社長に扮し、普段とは逆の相談者の立場になって相談してみるといふもの。作業服を着ると、なんとなくその気になるもので、しばしの間、社長の気分が味わえました(玉)